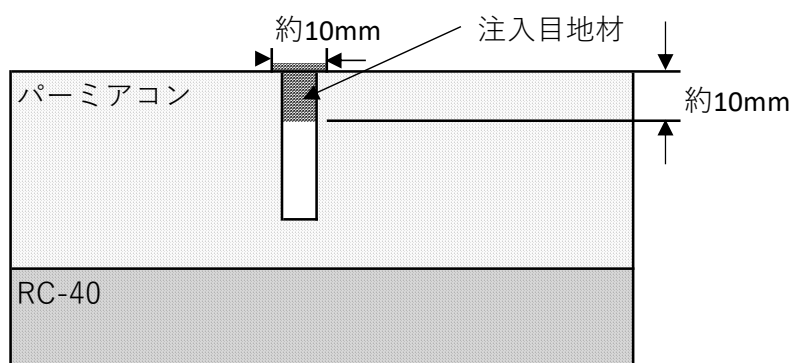


目地の標準断面図

パーミアコンには、版の膨張収縮、反りなどによる応力を軽減するために目地を設置します。なお、目地部にはスルップバーやタイバーなどは設けません。

収縮目地

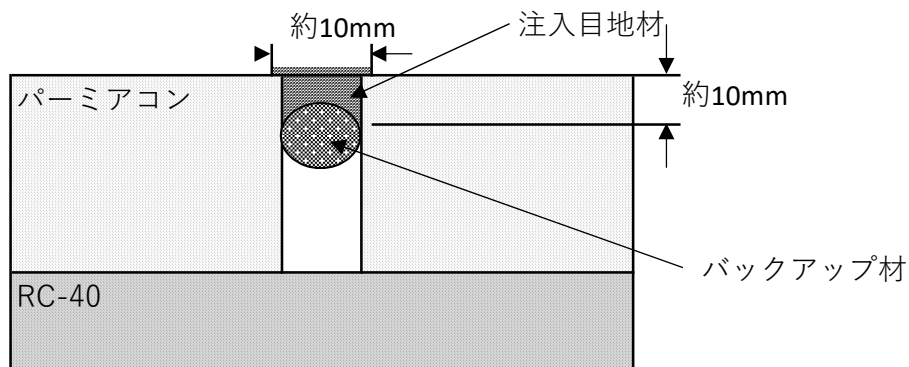
収縮目地の設置間隔は幅3～5m、長さ3～5m程の正方形又は長方形を標準とし、できるだけ小さい目地割り間隔とします。幅員の狭い歩道などの目地間隔は、幅員の2倍以下となるよう設置します。構造は、版厚の半分程度の深さまでカッター（1枚刃）切断し、注入目地材でコーキングします。



収縮目地の断面図（カッター幅3mm程度）

膨張目地

膨張目地は、間隔15m～30m以内を目安とし、平面形状等も考慮し設けます。構造はパーミアコン全厚をカッター（2枚刃）切断し、バックアップ材を詰めて、注入目地材でコーキングします。構造物と接する箇所には、必要に応じて発泡目地材による膨張目地を設けます。



膨張目地の断面図（カッター幅8mm程度）

注）目地割りは、できるだけ鋭角を作らない目地割りをお願いします。